



キリンホールディングス株式会社
キリン・サステナブルファイナンス・フレームワーク

1. はじめに

キリンホールディングス株式会社（以下、「当社」または「キリン」）は、以下の通り、「キリン・サステナブルファイナンス・フレームワーク」（グリーン・ソーシャル・サステナビリティファイナンス・フレームワーク。以下、「本フレームワーク」）を策定しました。本フレームワークは、「グリーンボンド原則 2021 年版（ICMA）」、「ソーシャルボンド原則 2021 年版（ICMA）」、「サステナビリティボンドガイドライン 2021 年版（ICMA）」、「環境省グリーンボンドガイドライン 2020 年版」、「ソーシャルボンドガイドライン（2021 年 10 月策定 金融庁）」、「グリーンローン原則（LMA）（APLMA）（LSTA）」並びに「環境省グリーンローン及びサステナビリティ・リンク・ローンガイドライン 2020 年版」との適合性に対するオピニオンを DNV ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社（以下、DNV）より取得しております。当社は本フレームワークに基づき、グリーン・ソーシャル・サステナビリティファイナンス（以下、「キリン・サステナブルファイナンス」）を実行いたします。

1.1 会社概要

当社はキリンビール株式会社、キリンビバレッジ株式会社、メルシャン株式会社、Lion Pty Ltd、協和キリン株式会社、協和発酵バイオ株式会社等によって構成されるキリングループの持株会社です。東京に本社を置き、日本及びアジア、オセアニア地域を中心に、祖業より培った発酵・バイオテクノロジーを生かし「食領域」（酒類・飲料事業）と「医領域」（医薬事業）に加え、2 つの中間領域である「ヘルスサイエンス領域」（ヘルスサイエンス事業）を展開しています。

1.2 グループ経営理念

キリングループは、自然と人を見つめるものづくりで、「食と健康」の新たなよろこびを広げ、こころ豊かな社会の実現に貢献します

1.3 キリングループの CSV 経営

キリングループでは、社会とともに持続的に存続・発展していくうえでの重要課題を「持続的成長のための経営諸課題（グループ・マテリアリティ・マトリックス：GMM）」に整理しています。「GMM」を元に経営理念を社会存在意義に翻訳した指針として「CSV パーパス」を策定し、その達成のための中期アクションプランとして「CSV コミットメント」を設定しています。「CSV コミットメント」は、グループ/事業会社の事業計画に組み込まれており、その進捗状況を業績評価に連動させています。

持続的成長のための経営諸課題

● 酒類メーカーとしての責任

● 健康

● コミュニティ

● 環境

● 他の重要課題とガバナンス

ステークホルダーへのインパクト	グループの事業へのインパクト		
	低	中	高
	● ウェルビーイングを育むつながりと信頼の創出	● Unmet Medical Needsを満たす医薬品の提供 ● 原料生産地と事業展開地域におけるコミュニティの持続的な発展 ● 持続可能な生物資源の利用 ● 持続可能な水資源の利用 ● 容器包装資源の持続可能な循環 ● 気候変動の克服	● アルコール関連問題への対応 ● 食の安全・安心の確保 ● 医薬品メーカーとしての安定供給と安全性・信頼性の確保 ● 人権の尊重
	● 脳機能のパフォーマンス向上と衰え予防の支援	● 生活習慣病の予防支援 ● コンプライアンスの推進	● 免疫機能の維持支援 ● 労働安全衛生の確保 ● イノベーションを実現する人材育成 ● ダイバーシティ&インクルージョンの推進 ● コーポレートガバナンスの実効性向上 ● リスクマネジメントの強化 ● 個人情報の保護
中	● 栄養へのアクセス向上 ● 租税の透明性確保	● 食に関わる経済の活性化 ● 持続可能な物流の構築 ● サイバー攻撃への対策	● 健康経営の実現 ● 活力のある職場/風土の実現 ● グループガバナンスの強化
低			

CSVパーパス



CSVコミットメント（一部抜粋）

重点課題	経営諸課題	成果指標	会社/部門	目標値 (2024年)
酒類メーカーとしての責任	アルコール関連問題への対応	適正飲酒啓発プログラムへの参加数、飲酒マナー・スロードリンク動画などのホームページ啓発コンテンツの訪問数	麒麟ビール	75万人
			メルシャン	7,200人
			ライオン	10万人
			麒麟ホールディングス CSV戦略部	13.5万人
健康	免疫機能の維持支援	プラズマ乳酸菌の機能認知率	麒麟ホールディングス ヘルスサイエンス事業部	45%
コミュニティ	人権の尊重	人権リスクが高い農産物のサプライチェーンに対する継続的な人権デューデリジェンスの実施（開始）件数	麒麟ホールディングス 調達部	3件
環境	気候変動の克服	GHG排出削減率:Scope1+2 ※ GHG (Green House Gas)	麒麟ビール	30% (19年比)
			麒麟ビバレッジ	17% (19年比)
			メルシャン	25% (19年比)
			ライオン	35% (19年比)
			ミャンマー・ブルフリー	1.3% (19年比)
			協和発酵バイオ	32% (19年比)
			協和麒麟	51% (19年比)

1.4 キリングroup環境ビジョン 2050



実現するための取り組み

生物資源 持続可能な生物資源を利用している社会	持続可能な原料農産物の育種・展開および調達を行います ●FSC、RSPO、レイノフォレスト・アライアンスなどの認証スキームに合致した原料農産物を選定します ●地球温暖化に寄与した原料農産物を選定し、原料生産地に展開します ●製品廃棄物の削減や資源効率を推進し、生産活動によって発生するフードウェイストをゼロにします 農産に寄り添い原料生産地を持続可能にします ●レイノフォレスト・アライアンスなど持続可能な栽培の発展を支援し、生産地における環境課題などを解決します ●持続可能な農業による豊かな生物多様性への貢献を調査・研究し、原料生産地に展開します
水資源 持続可能な水資源を利用している社会	原料として使用する水を持続可能な状態にします ●グループ拠点における水使用量の削減を継続します ●日本国内の水源地の森活動をさらに推進します 事業拠点の流域特性に応じた水の課題を解決します ●サプライチェーンの強化・効率化により水資源のリスクを最小化します ●原料生産地で水源地保全活動および水を大切にすることを教育を実施し、サプライチェーンにおける水の課題を解決します
容器包装 容器包装を持続可能に循環している社会	持続可能な容器包装を開発し普及します ●リサイクル材やバイオマスなどを使用した、持続可能な容器包装にします ●新容器・サービスの開発を目指します 容器包装の持続可能な資源循環システムを構築します ●日本国内のリサイクルシステム構築を牽引します ●事業展開地域の資源回収やリサイクルインフラ整備に貢献します
気候変動 気候変動を克服している社会	バリューチェーン全体の温室効果ガス排出量をネットゼロにします ●早急にRE100を達成するとともに、自社の使用エネルギーを100%再生可能エネルギーにします ●バリューチェーン全体の炭素排出量をネットゼロにします 脱炭素社会構築に向けリードしていきます ●お客様をはじめとしたステークホルダーと共に、脱炭素社会に寄与するビジネスモデルを構築します ●気候変動を緩和する研究を推進し、責任ある再生可能エネルギーを社会に届けます

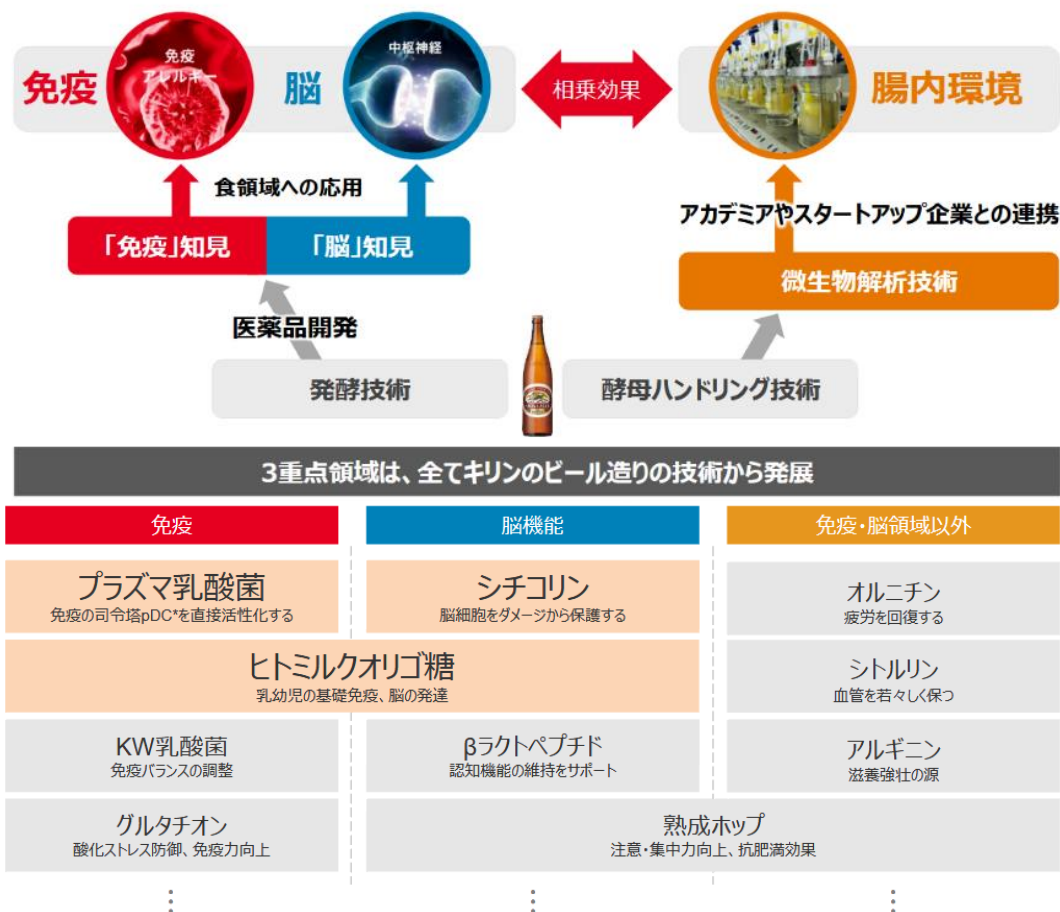
当社は「CSV」を経営戦略の中心に据えるとともに、地球環境の課題解決に先駆けとなって取り組むべく、2050 年を見据えた長期戦略「キリングroup環境ビジョン 2050」を策定しております。「ポジティブインパクトで、豊かな地球を」というビジョンのもと、お客様をはじめ広くステークホルダーと協働し自然と人にポジティブな影響を創出することで、こころ豊かな社会と地球を次世代につなげます。

1.5 ヘルスサイエンス領域

ヘルスサイエンス領域はグループのコアコンピタンスを生かしながら「健康課題」の解決を通して経済的・社会的価値を創出する領域です。特に免疫、脳、腸内環境の3つの重点領域の相乗効果によってイノベーションを創出しています。



1.5.1 ヘルスサイエンス領域における重点領域と当社ならではのイノベーション創出のプロセス



3重点領域は、全てキリンのビール造りの技術から発展		
免疫	脳機能	免疫・脳領域以外
プラズマ乳酸菌 免疫の司令塔pDC*を直接活性化	シチコリン 脳細胞をダメージから保護する	オルニチン 疲労を回復する
ヒトミルクオリゴ糖 乳幼児の基礎免疫、脳の発達		シトルリン 血管を若々しく保つ
KW乳酸菌 免疫バランスの調整	βラクトペプチド 認知機能の維持をサポート	アルギニン 滋養強壯の源
グルタチオン 酸化ストレス防御、免疫力向上	熟成ホップ 注意・集中力向上、抗肥満効果	

*pDC：プラズマサイトイド樹状細胞（plasmacytoid dendritic cells）の略称

グローバル戦略素材

1.5.2 キリンヘルスサイエンスビジネスとソーシャルガイドラインの連環

キリングループは CSV パーパスにおける重点課題のひとつに「健康」を掲げ、「健康な人を増やし、疾病に至る人を減らし、治療に関わる人に貢献する」事に取り組んでいます。その中でも、「免疫」「脳」「腸内環境」を重点領域と設定し、キリングループのコアコンピタンスである発酵&バイオテクノロジーにより産み出される戦略素材を用いた商品およびサービスを通して、これら領域にかかる健康課題を解決していきます。

キリングループのこうした取り組みは、「SDGs アクションプラン 2021」に挙げられている「健康・長寿の達成」という社会課題の解決に資するものであり、ソーシャルボンド原則、ソーシャルボンドガイドラインにも整合しているものと考えています。

1.6 キリン・サステナブルファイナンスの実行意義

当社はキリン・サステナブルファイナンスの実行を上記の社会課題の解決への対応を図りつつ、当社の CSV を推進するための資金調達として位置づけており、「お客様」、「株主・投資家」、「従業員」、「コミュニティ」、「ビジネスパートナー」、「地球環境」のステークホルダーの皆様に対して、改めて当社の取り組みを発信する契機となるものと考えております。

2. キリン・サステナブルファイナンス・フレームワーク

2.1 調達資金の使途

キリン・サステナブルファイナンスで調達された資金は、以下の適格クライテリアを満たすプロジェクト（適格プロジェクト）に関連する新規支出及びリファイナンスへ充当します。なお、リファイナンスの場合は、キリン・サステナブルファイナンス実行時点から5年以内に実施した設備投資に係る支出、又は3年以内に発生した費用に係る支出に限ります。

実行するファイナンスに応じて、以下のプロジェクトカテゴリへの資金充当を行います。

- ✓ グリーンファイナンス：グリーンプロジェクト
- ✓ ソーシャルファイナンス：ソーシャルプロジェクト
- ✓ サステナビリティファイナンス：グリーンプロジェクト及びソーシャルプロジェクト

2.1.1 適格クライテリア

【グリーンプロジェクト】

大項目	プロジェクト	グリーンボンド原則 プロジェクトカテゴリ	SDGs との整合性
省エネルギーに関する事業	・ 工場におけるヒートポンプシステムの導入	・ 省エネルギー （環境目的：気候変動の緩和）	7.エネルギーをみんなにそしてクリーンに 9.産業と技術革新の基盤をつくろう 13.気候変動に具体的な対策を
汚染防止と管理に関する事業及び環境配慮製品、環境に配慮した製造技術・プロセスに関する事業	・ 再生 PET 樹脂の調達・設備投資	・ 汚染防止と管理 （環境目的：汚染防止と管理） ・ 環境配慮製品、環境に配慮した製造技術・プロセス （環境目的：天然資源の保全）	9.産業と技術革新の基盤をつくろう 12.つくる責任つかう責任 14.海の豊かさを守ろう
再生可能エネルギーに関する事業	・ 工場における太陽光発電設備の導入 ・ 再生可能エネルギーの調達	・ 再生可能エネルギー （環境目的：気候変動の緩和）	7.エネルギーをみんなにそしてクリーンに 9.産業と技術革新の基盤をつくろう 13.気候変動に具体的な対策を

【ソーシャルプロジェクト】

大項目	プロジェクト	ソーシャルボンド原則 プロジェクトカテゴリ	SDGs との整合性
主に乳幼児の健康増進/病 気予防を通して健康・長寿 社会の達成に貢献する事業	・ ヒトミルクオリゴ糖製造に 資する設備投資・運営・ 原材料の調達	・ 必要不可欠なサービスへ のアクセス（健康・健康 管理） （対象となる人々：一 般大衆）	2.飢餓をゼロに 3.すべての人に健康と福祉 を 9.産業と技術革新の基盤を つくろう
脳機能パフォーマンス向上と 衰え予防を通して健康・長 寿社会の達成に貢献する事 業	・ シチコリン製造に資する設 備投資・運営・原材料の 調達	・ 必要不可欠なサービスへ のアクセス（健康・健康 管理） （対象となる人々：一 般大衆、高齢者、患 者）	2.飢餓をゼロに 3.すべての人に健康と福祉 を 9.産業と技術革新の基盤を つくろう
免疫機能の維持を通して健 康・長寿社会の達成に貢献 する事業	・ プラズマ乳酸菌の研究開 発及びプラズマ乳酸菌原 料粉末の製造に資する設 備投資・運営・原材料の 調達	・ 必要不可欠なサービスへ のアクセス（健康・健康 管理） （対象となる人々：一 般大衆、高齢者、脆弱な 若者）	3.すべての人に健康と福祉 を 9.産業と技術革新の基盤を つくろう

2.1.2 除外クライテリア

キリン・サステナブルファイナンスで調達された資金は下記に関連するプロジェクトには充当しません。

- ・プラスチック製造についてはリサイクルペットを対象としていないもの
- ・所在国の法令を遵守していない不公正な取引、贈収賄、腐敗、恐喝、横領等の不適切な関係
- ・人権、環境等社会問題を引き起こす原因となり得る取引

2.2 プロジェクトの評価と選定のプロセス

2.2.1 評価・選定プロセス

当社の経理部及び CSV 戦略部が 2.1 にて定めた適格プロジェクトを選定し、選定された適格プロジェクトの最終決定は財務戦略担当執行役員が行います。事業の適格性については、CSV パーパス達成への貢献性を総合的に評価しています。

2.2.2 環境リスク、社会リスクを低減するためのプロセス

事業の実施にあたって、当社はプロジェクトの実行及び事業期間の全てにおいて環境関連法令及び当該地域との協定を順守するほか、社会倫理に適合した誠実な行動を取るために、キリングroupコンプライアンスガイドラインに従います。また、適格プロジェクトに関する ESG 関連の論争が生じていた場合、適切に対処し、開示する予定です。

2.3 調達資金の管理

当社ではキリン・サステナブルファイナンス実行による手取り金について、全額が償還／返済されるまで、半期毎に当社の経理部が内部管理システムを用いて調達資金の充当状況を管理します。調達資金は資金調達から1年以内に適格プロジェクトに充当予定であり、キリン・サステナブルファイナンスの調達資金の全額が充当されるまでの間は、現金又は現金同等物等にて管理されます。

2.4 資金調達者によるレポート

2.4.1 資金充当状況レポート

当社は、適格クライテリアに適合するプロジェクトに調達資金が全額充当されるまで、プロジェクトについて機密性を考慮しつつ、調達資金の状況（プロジェクト名称、進捗状況を含むプロジェクトの概要、充当額及び未充当額）を年次でウェブサイト上に公表します。

また、長期にわたり維持が必要である資産について、複数回のキリン・サステナブルファイナンス実行を通じてリファイナンスを行う場合には、キリン・サステナブルファイナンス実行時点における当該資産の経過年数、残存耐用年数及びリファイナンス額を開示します。

なお、調達資金の全額充当後、大きな変更が生じる等の重要な事象が生じた場合は、適時に開示します。

2.4.2 インパクト・レポート

当社は、キリン・サステナブルファイナンス実行から償還／返済までの間、以下の指標を実務上可能な範囲で年次で当社ウェブサイト上にレポートします。

【グリーンプロジェクト】

大項目	プロジェクト	レポート事項
省エネルギーに関する事業	・ 工場におけるヒートポンプシステム導入	・ GHG 削減量 (t-CO ₂)
汚染防止と管理に関する事業及び環境配慮製品、環境に配慮した製造技術・プロセスに関する事業	・ 再生 PET 樹脂の調達・設備投資	・ リサイクル樹脂の使用比率 (%)
再生可能エネルギーに関する事業	・ 工場における太陽光発電設備の導入 ・ 再生可能エネルギーの調達	・ GHG 削減量 (t-CO ₂)

【ソーシャルプロジェクト】

大項目	プロジェクト	アウトプット	アウトカム（※） （対象となる人々に もたらされる便益や変化 （成果））
主に乳幼児の健康増進/病 気予防を通して健康・長寿 社会の達成に貢献する事業	・ ヒトミルクオリゴ糖製造に 資する設備投資・運営・ 原材料の調達	・ ヒトミルクオリゴ糖製造能 力の増加	・ 幅広い地域・年齢層のお 客様の健康増進に貢献す るヒトミルクオリゴ糖配合製 品（粉ミルク・健康食品な ど）の国内外の使用者数 の増加
脳機能パフォーマンス向上と 衰え予防を通して健康・長 寿社会の達成に貢献する事 業	・ シチコリン製造に資する設 備投資・運営・原材料の 調達	・ シチコリン製造能力の増 加	・ お客様の脳機能のパフ ォーマンス向上と衰え予防に 貢献するシチコリン配合製 品（医薬品・健康食品な ど）の国内外の使用者数 の増加
免疫機能の維持を通して健 康・長寿社会の達成に貢献 する事業	・ プラズマ乳酸菌の研究開 発及びプラズマ乳酸菌原 料粉末の製造に資する設 備投資・運営・原材料の 調達	・ プラズマ乳酸菌の製造能 力の増加 ・ 論文発表 ・ 学会での発表 ・ アカデミアとの提携	・ お客様の免疫機能維持 に貢献するプラズマ乳酸 菌の国内外の継続摂取 人数の増加

※それぞれのプロジェクトにおける使用者数を年次でレポートすることを想定しています。

2.5 外部レビュー

2.5.1 セカンド・パーティー・オピニオン

当社は、キリン・サステナブルファイナンス実行前に、DNV より本フレームワークについて、「グリーンボンド原則 2021 年版（ICMA）」、「ソーシャルボンド原則 2021 年版（ICMA）」、「サステナビリティボンドガイドライン 2021 年版（ICMA）」、「環境省グリーンボンドガイドライン 2020 年版」、「ソーシャルボンドガイドライン（2021 年 10 月策定 金融庁）」、「グリーンローン原則（LMA）（APLMA）（LSTA）」並びに「環境省グリーンローン及びサステナビリティ・リンク・ローンガイドライン 2020 年版」への適合性を確認するための外部陪平価を取得しました。

2.5.2 アニュアル・レビュー

当社はキリン・サステナブルファイナンス実行日から 1 年を経過する前に、適格プロジェクトのレポートが本フレームワークに適合しているかを評価するためのレビューを、独立した外部機関である DNV から取得致します。このレビューは、当該キリン・サステナブルファイナンス実行から全額充当まで毎年行う予定です。